



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2022-2023年度 国際ロータリーのテーマ

2022年



SERVE TO CHANGE LIVES
R.I 会長 ジェニファーE. ジョーンズ

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝樹

会長 澤田匡宏 幹事 久保田寿栄

クラブ会報・情報委員会 金子勇人・飯塚荘一・坪井良廣・吉田栄佐・園田誠

11月28日号

第3201回例会

(11月14日(月)第2例会)

- | | |
|---------------------------|----------|
| 1. 点 鐘 | 8. 幹事報告 |
| 2. ロータリーソング斉唱 | 9. 委員会報告 |
| 3. 来訪者紹介 | 10. 卓 話 |
| 4. 出席100%表彰 | 「新会員卓話」 |
| 5. 地区大会表彰 | 宮 篤万貴美さん |
| 2021-2022年度 会員増強優秀クラブ 第2位 | 荒川 望君 |
| 6. 桐生ローターアクトクラブ活動報告 | 関崎 亮君 |
| 7. 会長の時間 | 11. 点 鐘 |

ようこそビジター

〈桐生ローターアクトクラブ〉会長 清水 大 君

出席100%表彰

腰塚 富夫君	6回
大島千賀子さん	3回
平岩千鶴子さん	3回



桐生ローターアクトクラブ活動報告



桐生ローターアクトクラブ

会長 清水 大 君

桐生 RAC は、コロナ禍もあり活動が難しい状況が続き、会員も2名まで減少してしまいました。今まで RAC は、30歳までという年齢制限がありました。今年から年齢制限が無くなりましたので、OB を呼び戻し、今は、米山奨学生の姚丹さんを含め6名です。まだ会員数が少ない為、企業会員のご協力をお願い致します。

会長の時間

私は子供の頃から歴史好きです。小学校3年の時の大河ドラマ「天と地と」を見て以来大河ドラマは1度も欠かさずに見ています。読む本は歴史小説です。テレビも時代劇をよく見ます。城巡りもその一環で大好きです。豊臣秀吉は、尾張中村の百姓から関白にまで上り詰めた史上最高の出世人です。秀吉は人たらしと言われておりますが、その逸話の一つをお話します。

織田信長に仕えた秀吉は様々な場面で異才を発揮して、出自や家柄よりも実力を重視する信長のもとで出世していきます。北近江の浅井長政攻めでは浅井氏の小谷城を監視する横山城の城代として重要な役目を果たします。浅井氏滅亡後、信長は浅井氏の小谷城とその旧領の内五万石を秀吉に与えます。既に越前の朝倉氏は滅亡し浅井氏も滅亡したことで山城である小谷城は意味をなさなくなりました。秀吉は琵琶湖の水運を重視し領内の琵琶湖畔の今浜に城を築くことにしました。そして信長から一字をもらい今浜を長浜と改めます。秀吉は織田家臣の中で最初の城持ちとなったのです。

逸話はその頃の話です。兵の動員数は時代によっても異なりますが、この時代一万石で200名の兵が動員出来ると言われています。この時秀吉の動員出来る兵は五万石ですから1000名となります。1000名の部下、いくら頭の切れる秀吉でもその足軽など末端の一人一人までは顔と名前は覚えられません。

ある戦の前夜、秀吉軍は陣を張り翌日の戦に備えて

いました。陣の入り口には足軽が夜通し交代で見張り番をしています。秀吉は一人で見張り番の方に向かいます。その直前、その見張り番の足軽組頭から見張り番の名前を聞き出します。更にその見張り番の家族の近況なども聞き出します。

秀吉は見張り番の後ろに立つと、「与作」と見張り番の名前を呼びます。驚いた見張り番が後ろを振り向くと何と御大将の秀吉が立っているではありませんか。与作は御大将が自分の名前、自分のことを知っていることに驚き感激します。秀吉は更に続けます。「与作、母の足の具合はどうじゃ。明日の戦が終われば国に帰れる。帰ったら母を大事にせよ」与作は更に驚きます。御大将は母の足の悪いのを知っていて、心配してくだされている。与作は感謝感激、御大将秀吉のために明日の戦は死にものぐるいで戦う決意をします。秀吉は、一銭も使わず只の足軽を一騎当千の強者にしてしまいました。秀吉、人たらしの術の一話でした。

《報告》

- ・11/7 例会終了後、定例理事会
- ・11/9 ゴルフ部総会
- ・11/11 桐生4RC 合同チャリティーゴルフコンペ
赤城 CC 9名参加

《予定》

- ・例会終了後、職業奉仕委員会 家庭集会
- ・11/15 次年度ガバナー補佐 ZOOM 会議
須永次年度ガバナー補佐
- ・11/19～22 第51回ローター研究会及びガバナー・ミニ
研修セミナー 森ガバナー・ミニ
- ・11/21 休会
- ・11/24 桐生市ゴミ減量化推進協議会
中山社会奉仕委員
桐生4RC 会長幹事会
- ・11/26 桐生 RC ゴルフコンペ 桐生 CC
- ・11/27RLI PartIII 中山副幹事
ディスカッションリーダー 松島君、森君

幹事報告

- ・次週 21 日は、休会となります。
次回例会は、28 日となりますので、お間違いのないようお気をつけ下さい。

22 年秋の叙勲 旭日単光章受賞祝

山崎一順君
夫人 真由美様



委員会報告 出席委員会

本日の出席(令和4年11月14日)
総員69名:出席47名
令和4年10月17日例会修正出席率:87.5%

☺ ニコニコボックス

澤田匡宏君、久保田寿栄君…山崎先生の奥様山崎真由美様の旭日単光章の叙勲おめでとございます／宮嶋万貴美さん、荒川望君、関崎亮君…卓話させて頂きます／園田誠君…結婚祝／腰塚富夫君、平岩千鶴子さん…出席100%。

卓話



「新会員卓話」

宮嶋 万貴美さん

今回は卓話のお時間をいただきありがとうございます。今回は私自身が桐生出身ではなく、そして 40 代サラリーマン女性であるという桐生ロータークラブの中ではマイノリティな属性ですのでその辺りのことを自己紹介を兼ねてお話しさせていただこうと思います。

私は岡山県の玉野市という海辺の町で産まれました。政令指定都市の岡山市と倉敷市に挟まれた南端の街で、三井造船の創業地であり企業城下町です。昭和の時代は大変活気に満ちていて商店街や映画館もあり鉄道も通って賑やかな町の思い出があります。しかし日本での造船需要低下で三井造船は造船事業から撤退し、今は工場を三菱重工が引き継いでいますが、やはり中々昔の活気が戻ることはなく、激しく高齢化が進み病院や交通などの生活インフラも年々淋しくなっています。

桐生の街を初めて歩いたときは「故郷に雰囲気似ているな」と感じました。田園風景ではなく、古い商店が軒を連ねていてその中に空きテナントや空き家がポツポツ存在する感じなど随所に懐かしさを感じています。

そんな街で育ったこともあり、クラスの大半の親御さんがお父さんは三井造船、お母さんは専業主婦だったのですが、我が家は父はお隣倉敷市の水島コンビナートという工業地帯で工業プラントの設計施工する会社で営業をしており、母は県の職員として県庁等で定年まで勤め上げた人で、ちょっと周りと環境が違う家でした。

私の仕事観には母の影響が大きく、母は着道楽で服や着物が大好きなのですが、大学生くらいからは一緒に買物に行く度に「アクセサリーや靴くらい自分の判断で自分のお金で買う事」と口を酸っぱく言われていました。特に 40 代からは男女共同参画推進センターという機関に配属されて DV 被害者やシングルマザーの女性と関わるが多くなり、女性が自立できる収入を得ることの重要性を痛感していたのだと思います。

私は小中学生の頃、学級委員をするような比較的眞面目人間でした。勉強も得意で、やればやっただけ模試の順位になって結果が返ってくるので勉強は好きでした。

逆にテストの前に「全然勉強してない、やばい」といった女子的な会話に交じるのが気まずくて、早く地元を出て都会に行けば、周りを気にせず好きな事を頑張って評価される世界があるんじゃないかと思っていました。

大学は晴れて地元を出ることができ、京都府立大学生

物生産学科でトマトの研究をしました。そこから関西の企業に就職したと思ったら東京営業所配属になり東京に出てくることになります。

東京では営業マンをやっておりました、法人様向けに飲食フランチャイズの加盟店開発をしていました。某焼肉や居酒屋チェーンをやりませんか？と朝イチ9時頃から夕方まで3,4件見込み先や取引先を周り、予定が入らなければテレポをして、夜事務所に戻って次の日の準備をして終電で帰るといふ、今では「ブラック」と言われそうな働き方をしていました。

その取引先の中で今の会社の代表に出会い、飲食事業に進出するにあたって手伝ってほしいと声をかけていただき縁あって今も働かせていただいています。今の会社に入社してから結婚してありがたい事に3人の子供に恵まれました。最初の子供が31歳。それから35歳38歳と30代は妊娠期間と育児休業期間で費やした感覚が大きいです。それでも毎回おめでどうと言って送り出し、また迎え入れてくれていた会社には感謝してもしきれません。

ブラックな働き方は今では眉を潜められますが、とはいえ私のような人間でも無理やり詰め込むと成長するもので、20代に貯めたビジネススキルの貯金を切り崩しながら何とか仕事をしていた30代でした。男性の場合はおそらく30代は仕事の脂が乗ってサラリーマンなら出世ルートに飛び乗る時期でしょうが、子供を3人持ちたいとなると女性はそうはいきません。一組のカップルに3人子供がいなければ人口は増えませんから、女性の社会での活躍を期待する国の方針からすると、少子化やむなしということを実感します。

私が今このように働くことができているのは、3つの奇跡的な縁が繋がったからです。まず今の会社に入ったこと。それは子どもが出来た時に会社が重要な仕事を任せなくなるのではなく、今まで通り仕事を振りつつ働き方に寛容にしてくれたことが私にとってちょうどよい配慮でした。そして配偶者。仕事をすることを理解した上で同じように育児ができる人とたまたま結婚できました。最後に子ども。小さい頃はベビーシッターさんや宿泊保育を利用していましたが、淋しいと思うこともあったかと思いますが、ありがたい事に環境の変化に強い子でした。特に長女の明るさと穏やかさにはいつも助けられています。

最近少し育児が一段落してふと周りをみわたすと、横にはほとんど同年代や先輩の女性がおらずたわいない仕事の話や愚痴を言える人がいなくなりさみしい思いをしている時に、桐生でバリバリビジネスの最前線で活躍する女性に沢山お会いすることが出来ました。ロータリークラブにご紹介していただいた田中社長から桐生で縁の輪が広がって、本当に楽しくやりがいを感じられています。これからも縁を結ぶチャンスに積極的に動き、結んだ縁を大切に育ててまた一歩進んでいきたいと考えています。



「新会員卓話」

荒川 望君

初めての卓話で何を話したら良いのか分かりませんので自己紹介編と言う事でお話しさせていただきます。

しばしお時間を下さいませ。

私は1961年12月19日桐生市梅田町に生まれました。決して裕福とは言えないむしろ貧乏という言葉がふさわしかったと思います。私の上に姉が3人下に弟が2人、1番下に妹が1人の七人兄弟の長男です。

小学校三年生の時病気で父親を亡くし広沢の市営住宅に引越しました。

少年時代をヤンチャな程、元気に過ごし中学校ではサッカー部で活動していました、中三の夏の最後の大会で相手の反則にて足を骨折し6月から4ヶ月あまり入院してしまいました。2学期はまともに学校にも行けませんでした。さあ～進路はどうしよう…勉強も遅れているし…そのころから車好きでいつも病室で車の本を読んでいた。折もスーパーカーブームで中でも私はそのスーパーカーの代名詞である、皆さんも一度は耳にした事があるかもしれませんがランボルギーニカウンタックに魅了され将来、車に係る仕事に就きたいと思いました、家庭の事情もあり高校進学は断念し。色々悩んだ結果、館林に有った職業訓練校の自動車科に入学し1年電車で通い自動車整備士の国家資格を取得しました。その後、笠懸のとある工場へ16歳で就職先輩方から色々教わり3年経過し自信が付いた頃桐生の整備工場からオファーが来て工場長を任せられました。そこで北川眼科の先生と出会いもあり現在も大変親しくさせて頂いております。その後21歳の時独立を考え始め次のステップと言う事もあり別の整備工場へ転職し独立まではと、そこで11年勤めました。独立まではかなりの時間が必要となってしまいました。何せ、お金も土地も何にも無しの貧乏その者でしたので…

独立を考えていたある日、気心知れた某ディーラーの営業マンからの一言に火が付き本格的に独立へ踏み出したとも言えます。『今の時代独立なんて出来っこないよ、ましてお前は土地もお金もないのに無理に決まっている』と言われ、自分には無理なのかと思ったのもつかの間、逆にどんな事をしてでも自分の整備工場をとの思いが益々強くなりました。金が無ければ作れば良いだけの事、働けば良いと言う事で勤めながら新聞配達をし、会社が終わったら知り合いの整備工場で夜中まで働き、10年がかりで資金を貯め現在の笠懸町に小さいながら自分の工場と家を建てました。順調に行っていたと思っていたが、何か足りない…

燃え尽き症候群とでも言うのでしょうか目標を独立開業、マイホーム実現という所に持って行ってしまったせいか仕事はあったものの毎日がパツとしない日々が続いてしまいました。このままではイケないと思い荒川自動車再生計画とし、色々考えました。将来的に整備や車検だけに頼っているのはダメだと思っていた私は、やはり車をも

っと販売してお客さんを増やさねばと思いました。自分は周りの業者より遅れてスタートラインに立っている、周りと同じことをしていても追いつく事などできない、ましてや追い越すなんてと思いました。そうだどんな車も販売しているのでは皆と同じだ！と思った私は、当時お付き合いが深かったダイハツを思い出し、他のメーカーも扱うがダイハツなら他に負けないお店にすれば良いじゃないかと思いつつその後ダイハツ車をメインに扱うようになり県内でも屈指のダイハツ車販売店になり 20 年以上メーカーからも表彰を毎年受けるまでになりました。しかし又ダイハツ販売だけではイケないと思い、色々考えていました。15 年以上前の出来事で、友人が父親の為に福祉車両を購入したが納車が間に合わず乗せることなく他界してしまったと後悔の念を口にしました。その時ふと福祉車両のレンタカーを持つと決意しました、他のレンタカー数台はあったのですが 1 台くらい利益度返して構わない絶対に友人の様に福祉車両を必要としている人がいると思いつつ増車しました。思えば奉仕の心や福祉への思いはそのころ芽生えたのだと思います。

何事にも奥を追求する性格ですので福祉車両にも思いが深く壊れたらどうするのだろう…？困っている人がいるんじゃないのかと思った私は当時岐阜に有った福祉車両改造作成 メーカーに出向き数日間泊りで福祉車両について学びました。そこで福祉車両の取扱いライセンスを取得し、その後更なる技術向上の為に埼玉県本部の全国総合福祉車両協議会へ加盟し全国でも数名しかいない認定福祉車両整備士、及び福祉車両アドバイザーの資格を取得致しました。その後数年経ち 2012 年別店舗で福祉車両専門店やさしくくるま工房を立ち上げ本格的に福祉車両を取り扱うようになりました。それでも周りではこんな需要が少なく儲からない事やって店まで出してバカじゃないかと言われました、その言葉に変な意味で逆に励まされ福祉車両の存在を周りに周知し数年間保険会社や周りの方の力を借り県内各所のホールや公共施設で介護や関係者や病院関係者を集め福祉車両の正しい取扱い方等を研修会という形で周知し続けました。その甲斐あってかどうかは分かりませんが現在では福祉車両と言う言葉が日常で使われ周知されてきました。同時に福祉車両の事なら荒川自動車と県内各所の施設様や病院ともお付合ができるようになりました。現在では協議会の役員として会員の福祉車両の整備技術向上や施設様等に安全に福祉車両を利用してもらえる様研修会等を通じて日々周知しております。福祉車両と出会い今迄は遠かった介護施設様や病院等のお付き合いの中で改めて福祉を身近に考える様になり、困っているお客様の為に役に立ちたい、車が直ってよかったと喜ぶ笑顔が見たいと思う様になりました。ゴールを見誤って燃え尽き症候群になりましたが『仕事にゴールは無い、人生にゴールは無い、常に前を見て次のステップを考える』と言うのが私のポリシーです。自動車業界は 100 年に 1 度と言う大変革期に向かっています。電気自動車を始め水素エンジン等が導入されるのも遠くないと思います。新たな困難が多々待っていると思います。

逆境を力に変え、ゴールの先にある終わりのないゴールに向い老体にムチを打ちながら走り続けて行きたいと思

います。
最後に素晴らしい会である桐生ロータリー倶楽部をご紹介下さいました、
グランドラブ青木社長を始め本日のような機会を設けて下さいました澤田会長を始め皆様に出会えた事に感謝しております。
私のくだらないお話にお付き合い下さいましてありがとうございました。
これからも皆様のご指導ご鞭撻を頂戴し成長していきたいと思っておりますので、
今後ともよろしく願い申し上げます。
ご清張ありがとうございました。



「新会員卓話」

関崎 亮君

みなさまこんにちは。
学校法人 桐丘学園 理事長の関崎亮と申します。
本学園は、昨年創立 120 周年を迎えることが出来ました。これもひとえに学園を支えてきてくださった関係者や地域の皆様のおかげと改めて感謝申し上げます。
1901 年、長澤幹子により女性の自立を目的に桐生裁縫専門女学館として創立された本学園は、建学の精神である「社会に出て役立つ人間の育成」、教育理念「実学実践」のもと桐生大学・桐生大学短期大学部・桐生第一高等学校・桐生大学附属中学校・桐生大学附属幼稚園を傘下にもつ総合学園として、地域に根ざし、貢献できる学園を目指し邁進してまいりました。
他方、昨今では全世界を襲った新型コロナウイルスや地政学的リスクが世界経済に大きな影響を与えるだけではなく、人々の意識や人生観を変えるような急激な変化をもたらしました。さらには人口減少、少子高齢化、複雑化する環境問題や混迷を極める国際問題など未曾有の課題にも直面しております。それらに対処していくには既成の概念に囚われることなく、新たな発想力を持ち、主体的に考え、地域や社会とともに課題を解決していけるような人材が求められます。
創立当時では想像にも及ばない様々な課題が山積する現代ではありますが、「社会に出て役立つ人間の育成」という変わらぬ建学の精神のもと、地域社会ひいては日本や世界の発展に貢献できる人材を輩出できる学園を目指して学園関係者一丸となり、鋭意努力してまいります。引き続き皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日の食事



✿本日のお花✿



美喜仁